

2010年度

《修士論文》

- 藤田 必至 中学生の友人関係と自己意識に関する研究～「携帯電話」とのかかわりを通して～
朱 劍橋 中国における社会移動の手段に関する一研究—上海における地方出身大卒者に焦点を当てて—
祝 方悦 中国の若者における日本ポピュラー文化の受容—アニメファンを中心に—
永山 博美 現代日本における看護業務の変化
—1980年代以降の医療制度から見る看護師の役割に関する社会学的研究—

《博士論文》(論文博士)

- 小村 富美子 日本の薬剤師—隠された医療専門職—
秋風 知恵 ディスアビリティを可視化する

《博士論文》(課程博士)

- 傅 琳琳 中国大都市におけるコミュニティ形成と地域福祉—大連市の「一般社区」を事例に—

2009年度

《修士論文》

- 一色 計人 インターネットを介した、テレビ番組視聴の考察 —アニメーション作品に対する言説分析を通して—
- 植田 千晶 韓国系キリスト教会に集う人々 —信仰という生活世界—
- 上原 健太郎 沖縄の労働世界の構成過程 —ライフヒストリーからみる「経済構造」「沖縄性」「労働観」のダイナミズム
- 松井 広志 「盗撮」の多様性と監視社会 —盗撮の社会問題化をめぐるメディア社会学的分析—

《博士論文》(課程博士)

- 堤 圭史郎 ホームレス問題における都市住民の認識と介入

2008年度

《修士論文》

- 瓜生 りつ 筑豊・田川の部落問題とジェンダーの研究 —部落女性のライフヒストリーから—
- 田井 めぐみ 女性同性愛者の受容過程と生活構造 —バー「A」に集まる人々の語りから—
- 高橋 椿 在日ベトナム人の定住の過程 —在日ベトナム人コミュニティの事例から—

《博士論文》(論文博士)

- 松本 訓枝 「不登校」児家族の変容過程とセルフ・ヘルプグループの役割
—「不登校」児親の会をてがかりにして—
- 妻木 進吾 野宿者の析出と固定化に関する社会学的研究
—1990年代以降の大阪を事例として—
- 鯨坂 学 都市移住者の社会学的研究
都市—農村関係の地域社会学をめざして

2007年度

《修士論文》

- 大林 陽一 ゲノミック・ライフ — 遺伝情報による主体化に関する考察 —
傅 琳琳 中国大都市におけるコミュニティ形成の可能性 — 大連調査を通して —

2006年度

《博士論文》

- 内田 龍史 被差別部落マイノリティのアイデンティティと社会関係に関する研究
大倉 祐二 都市下層における就業構造の変容と90年代における野宿者の急増

2005年度

《修士論文》

- 秋風 千恵 軽度障害者の意味世界 — 障害の重篤さと生きづらさは比例するのか? —
田中 昌樹 現代における大卒者の早期離職 — 大卒早期離職者16名の事例から —
佐藤 令奈 アトピー性皮膚炎の社会過程の考察 — 成人アトピー性皮膚炎患者の生活世界の構成 —
舟尾 宣亮 学校教育現場から見るニューカマーの教育問題 — 本当の異文化理解を求めて —

2004年度

《修士論文》

- 佐々木 洋子 AD/HDの現代的位相
——当事者・関係者の相互作用をめぐって——
廣 田 学 都市の自然環境からみた「里山」
渡 辺 拓 也 人夫出し飯場のエスノグラフィー

2003年度

《博士論文》

- 竹川郁雄 「現代日本社会におけるいじめ問題と集団論的研究」
石川義之 親族における性的虐待 —近親姦の実態と病理—
松永寛明 日本の刑事司法と観衆 近代的刑罰制度の原型に関する研究
二階堂裕子 <地域福祉と民族関係>に関する都市社会学的研究

《修士論文》

- 中山修一 不登校問題における当事者たちのゆくえ
高智富美 外国人多住都市における教育運動とエスニック・アイデンティティ
—大阪府八尾市を事例として—

2001年度

《修士論文》

- 妻木進吾 野宿生活の構造的把握
—— 野宿生活の維持は、いかにして「選択」されるか ——
齋藤葉子 当事者の選択にはたらく力
—— 新たな装置としての赴任治療カウンセリング ——
松本訓枝 「不登校」児に対する親の態度変容
—— 「親の会」への参加を通して母親はわが子の「不登校」を
どのように解釈し対処していったのか? ——